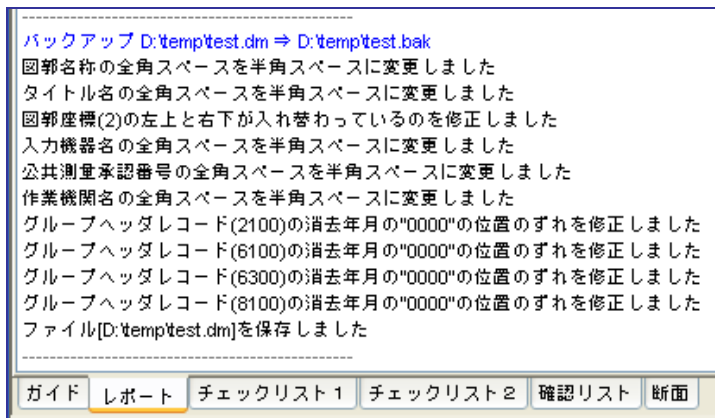


1. 修正

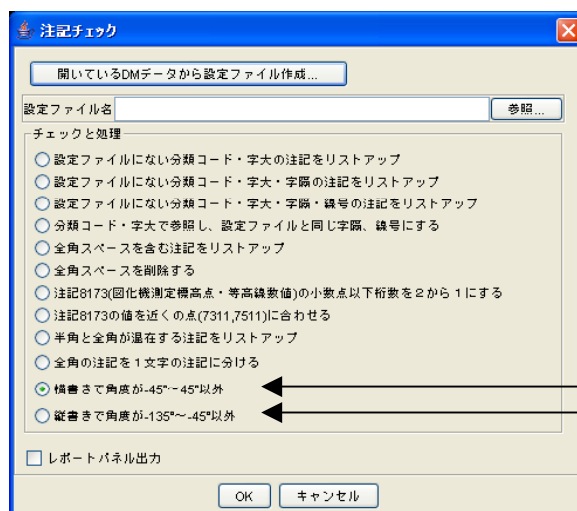
- 拡張 DM エディタのバージョン 2.12 以前での問題で、拡張 DM ファイルの図郭レコードの図郭座標(2)の左上と右下が入れ替わっている問題がありました。バージョン 2.13 で修正しましたが、2.12 以前で作成した拡張 DM データファイルを修正するため、拡張 DM ファイル保存時に入れ替わっている場合、正常な座標に修正するようにしました。
- DM から拡張 DM に変換する際に、グループヘッダレコードの消去年月の「0000」を書き出す位置が一文字後ろにずれていました。拡張 DM ファイルを保存する際に修正するようにしました。
- DM から拡張 DM に変換する際に、図郭レコードの図郭名称などの余白が全角スペースになっていました。拡張 DM ファイルを保存する際に、全角スペースを半角スペースに修正するようにしました。



- DM から拡張 DM に変換する際に、要素レコードの地域分類と情報分類を空白にしていた。拡張 DM ファイルを保存する際に、空白ならばそれぞれ [0] [0] に修正するようにしました。

2. 注記チェック

[チェック]-[注記チェック]に注記の角度の範囲チェックを追加しました。



3. 要素リストアップ

[ツール]-[要素リストアップ]に定義されていない図形区分をリストアップするオプションを追加しました。図形区分の値が設定ファイル DMFigureKind.csv に定義されていない場合、該当する要素をリストアップします。

要素リストアップ

データタイプ

- E1面
- E2線
- E3円
- E4円弧
- E5点
- E6方向
- E7注記
- E8属性

分類コード

- すべての分類コード
- 分類コードを選択 (1)
- 分類コードを選択 (2)
- 分類コードを選択 (3)

2次元、3次元

- 2次元と3次元すべて
- 3次元
- 3次元で標高値が全て0.0
- 3次元で標高値が-999より高い
- 3次元で標高値が-999より高く0.0より低い
- 3次元で標高値が-999より高く、全て同じ
- 3次元で標高値が-999より高く、一部異なる
- 3次元で標高値が-999以下
- 2次元

図形区分

- すべての図形区分
- 非区分(0)
- 射影部の上端(11)
- 射影部の下端(12)
- 表現補助データ(99)
- 表現補助データ(99)以外
- 0,11,12,99以外
- 定義以外

図形区分:

面(E1),線(E2)の点数

- 点数は問わない
- 2点
- 3点以上

面(E1),線(E2)の長さ

- 長さは問わない
- 長さを指定(2D)
- 長さを指定(3D)

長さの最小値: m

長さの最大値: m

その他の条件

- 注記の数値の小数点以下桁数が1
- 消去年月が空白か0以外

処理

- リストアップ(順次)
- リストアップ(長い方から)
- 該当要素を削除する
- 分類コードを変更する
-
- 中断区分を0にする
- 中断区分を1にする
- 図形区分を表現補助データ(99)にする
- 面(E1)を線(E2)にする
- 点(E5)を方向(E6)にする
- 方向(E6)を点(E5)にする

レポートパネル出力

OK キャンセル